

コニカミノルタビジネスソリューションズ

Konica Minolta Business Solutions Japan Co.,Ltd.

PDFのダイレクト印刷サポートで IBM i 基幹帳票印刷の提案力を強化



複合機ユーザーからの ダイレクト印刷ニーズが契機に

オフィス複合機やオフィスプリンタを提供する主要ベンダーの中で、コニカミノルタはおそらく、今までIBM i 市場から最も距離のある1社であったと言えるだろう。オフィスカラー複合機「bizhub（ビズハブ）」は同社の人気シリーズであるが、カラーレーザープリンタ「magicolor（マジカラー）」シリーズや高速複合機（プロダクションプリント）「bizhub PRO」（ビズハブ・プロ）も含めて、5577エミュレーション機能はサポートしていない。

そのためIBM iの帳票を印刷したい場合は、PCOMMやIBM i Access搭載の端末経由で出力することになる。IBM iからのダイレクト印刷というニーズには、必ずしも対応できていなかったのが実情である。

状況が変わり始めたのは昨年秋。同社のオフィス複合機を導入する部品メーカーが、IBM iからプリンタセッションレスかつサーバーレスのダイレクト印刷を求めたのが直接のきっかけである。ハードウェアからソフトウェアまで、多様なコニカミノルタ製品の販売を担うコニカミノルタビジネスソリューションズでは、ダイレクト印刷に対して何らかの対処が必要と考えて

いた。そこでユーザーの意向を受け、実現手法を検討する過程で、IBM iのプリンティングソリューションである「UT/400-iPDC」の存在を知る。

IBM i 市場での高い知名度や国産ベンダーの技術連携・サポートへの安心感、IBM iのスプールデータからPDFを作成する技術力などを評価して、ユーザーから要望されたプリンタ制御（給紙トレイ指定・排出トレイ指定・両面・パンチなど）の実装を含めた「UT/400ダイレクト印刷オプション for Konica Minolta」の開発を依頼したのである。

UT/400ダイレクト印刷オプションの開発へ

同オプションを導入すれば、5577等のエミュレーション機能は不要。つまりセッションレス・サーバーレスで、IBM iからダイレクトにPDF化したスプールファイルをオフィス複合機やオフィスプリンタで印刷できる。

「UT/400-iPDC」との連携で、多彩なオーバーレイ機能による複写伝票からカット紙への移行やバーコード付加・画像・レイアウトデザインも、簡単に解決できる。両社は現在、今年夏頃のリリースを目標に、同オプションの開

発を急ピッチで進めている。

導入を予定する前述のIBM iユーザーでは、現在7拠点でIBM iからの基幹帳票をプリンタセッション経由で専用プリンタ（ドットプリンタ4台、ラインプリンタ7台）や5577エミュレータ搭載の専用レーザープリンタ（2台）で出力しているほか、他社製を含めたオフィス複合機を導入している。

これに対し、今年の夏以降は「UT/400-iPDC」と「UT/400ダイレクト印刷オプション for Konica Minolta」の導入により、複写用紙からカット紙へ移行し、専用プリンタの運用を廃止。印刷環境はすべてコニカミノルタのオフィス複合機へ統一し、Windows PCからも共有して、プリンタの稼働率を高める計画である。

基幹系と情報系の出力を集約することになるが、同オプションのプリンタ制御機能で、排出トレイを分けて運用することで取り間違いなどを防止する。

また「UT/400ファイル転送オプション」や「UT/400-SPL」を導入し、IBM i上での自動仕分けや結合処理から各アウトプットの自動配信を実現。

さらにPDFの電子活用から、連携するインターネット帳票配信サービス「@TOVAS（あっととばす）」を利用してPDFをメールやFaxへ自動配信することで、印刷後の手動Fax送信・配送

主力製品



bizhub C360
オフィスカラー複合機



magicolor 4750DN
A4カラー
レーザープリンタ

SOLUTION UT/400-iPDC

第1特集

PRINTER Solution Approach

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

<http://bj.konicaminolta.jp/>

株式会社アイエステクノポート

<http://www.istechnoport.co.jp/>

作業の解消、郵送費の削減に役立てる。UT/400の関連製品を組み合わせ、印刷領域以外にも広くカバーし、IBM iの統合帳票基盤を構築していく考えだ。

コニカミノルタビジネスソリューションズでは、同社の主要顧客層とIBM iのユーザー層がともに中堅中小企業と重なることから、これをモデル

に今後、専用プリンタからオフィス複合機・オフィスプリンタ・高速複合機への移行提案をIBM i市場へ積極的に展開する計画である。📍

コニカミノルタビジネスソリューションズ 提案シナリオ

ポイント

「UT/400-iPDC」と
「UT/400 ダイレクト印刷オプション
for Konica Minolta」により
印刷環境をオフィス複合機へ統合

